おりざの町

夢に向かって　ふみ出す一歩

やさしく　かしこく　たくましく

2024年の合い言葉「チャレンジスイッチ　オン！」

創立150周年

令和6年度
四ツ屋小学校
学校報　No.37
令和6年12月5日

1・2年　生活科おもちゃフェスティバル
～年長児のみなさんを招待して～

はじめは校歌のプレゼント。一・二年生に囲まれて、年長さんも少し緊張気味でした。もう四ヶ月後には、一緒に歌うのですね。

四ツ屋こども園、さどれみ保育園の年長うさんたんにみんでもらを内、おもちゃの説明、案内、ために楽しんで進行、何度も練習しました。

ゼスチャー・声かけ・励ましも失敗しても優しく受け入れる一二年生を生かして貼ってあげるようにチャレンジしました。

この日のために、工夫して作ったおもちゃがゆりの木ホールに勢揃いしました。遊び方の説明で見せた１・２年生の自信満々な表情が頼もしく、園の先生方もその成長ぶりに目を細めていました。

感想発表では、「〇〇ちゃんが上手でした。」「大きな声で『いらっしゃいませ』と言ったら来てくれてうれしかったです。」と大満足な様子。四ツ屋こども園の園長先生も「ゼスチャーたっぷりのアピールが素晴らしかった。」と感心しながら話してくださいました。

温かい日差しが差し込むホールがさらにぽかぽかになりました。

年長児のみなさんへ、アサガオの種と紙コップ花火のプレゼント

5年生　総合的な学習
～自慢のお米を
しゅしゅえっとまるしぇで販売～

田植え、稲刈りと米作りについて学習、体験をしてきた５年生が、お米３合を１袋として「スマイル米」と名付けて販売しました。JA「中央エリア青年部」さんのご協力とご支援によるもので、稲刈りに続いて貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

「世界に一つしかないお米ですよ！」「あと30しかありません。買うなら今ですよ！」と威勢のよい声が店の入口で響き渡りました。お客さんとの会話も嬉しい体験の一つですね。

お客さんが、がんばっている子どもたちに、話しかけてくださり、励ましてくださいました。

黄色いはんてんが似合っています。

保護者の方も買ってくださり、ありがとうございました。